

6年生保護者の皆様

札幌市立栄小学校
校長 大久保 康

全国学力・学習状況調査の結果について

4月23日（木）に全国の小学6年生を対象に学力・学習状況調査が実施されました。個人の結果は1学期末に6年生にお渡しいたしました。その後、送付されてきた全国の結果と本校の結果につきまして、下記の通り全国と比較した分析結果がまとまりました。結果は調査を実施した6年生にお知らせします。なお、この調査で測定できるのは、学力の一部分であり、教育活動の一側面であることを十分にご理解の上ご参照ください。

本校の概要 国語

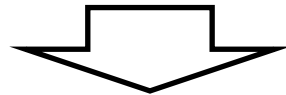
「話すこと・聞くこと」
《全国平均とほぼ同じ。》

「書くこと」
《全国平均よりやや上回っている。》

「読むこと」
《全国平均よりやや上回っている。》

「言葉の特徴や使い方に関する事項」
《全国平均より上回っている。》

「情報の扱い方に関する事項」
《全国平均より上回っている。》



今回の調査における成果と課題

話すこと・聞くことについては、自分の考えが伝わるように表現を工夫することが全国平均よりかなりできています。しかし、理由を挙げて話の中心が明確になるような構成を考えることは苦手としています。普段から具体的な事例を挙げたり理由をはっきりさせたりして内容を伝えていくような学習活動の充実を図っていく必要があると考えられます。

目的や意図に応じて文章全体の構成や展開を考え書く力は、全国平均よりやや上回っています。自分の考えが伝わるように、書き表し方を工夫することも全国平均と同程度でした。

読むことについては、全体的に全国平均よりやや上回っています。文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめる力も、目的に応じて必要な情報を見付ける力も全国平均よりやや上でした。

言葉の特徴や使い方に関する事項は全国平均を上回りました。比喻や反復などの表現の工夫を理解できている子が多くいました。

情報の扱い方に関する事項は全国平均を上回りました。2つの情報を関連付けて考える力がついています。

また、全国平均に比べて無回答率が多いことから、粘り強く問題を考えることが課題となる子がいることが分かります。

本校の概要 算数

「数と計算」
《全国平均より、上回っている。》

「図形」
《全国平均より、上回っている。》

「測定」
《全国平均より、かなり上回っている。》

「変化と関係」
《全国平均より、上回っている。》

「データの活用」
《全国平均より、やや上回っている。》



今回の調査における成果と課題

数と計算については、単位分数の個数に着目して、数直線上の1を表す目盛りを捉える力に優れた子が多くいました。これは、普段の授業から数直線を使って問題を解決するように指導している成果だと考えられます。また、基準量、比較量、割合の関係を読み取ったり、異分母の分数の大小を判断したりする力がついています。四捨五入して概数で表すことや小数の計算で小数点の位置を合わせて減法をする計算では全国平均をやや上回るにとどまっていた。これは、昨年度と同じような傾向です。

図形の分野では、図形を構成する要素に着目して直方体の辺の長さを捉える問題や、直方体の箱の形を構成する面についてよく理解できていました。特に直方体の体積を求める問題では全国平均を大きく上回りました。

測定では、時間の問題において、示された情報を基に数量の関係に着目して問題を解くことができおり全国平均をかなり上回りました。

変化と関係は、百分率に示された部分の割合から、全体の量を求めることは全国平均を上回りましたが、2つの場所の混み具合を比べる式の意味を理解する問題では全国平均をやや下回りました。単位量当たりの大きさを求める問題を解く量を増やすとともに、適切な式を選ぶ力をつけるよう取り組んでいきます

データの活用は全国平均をやや上回りました。表から条件に合う数を読み取ったり、帯グラフの特徴と用い方を理解したりすることができていました。

無回答率は前半から後半まで一定で、算数においては時間内に問題を解くことのできることを示しています。

今年度の算数は、5つの領域の平均正答率の状況を見ても特に力が落ちている分野がなく、全領域で全国平均を上回る結果となりました。

★昨年度の全国学力・学習状況調査では「理科」が実施されていましたが、今年度は実施されませんでした。

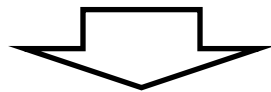
【生活習慣や学習環境に関する調査から】

指導の充実や学習状況の改善を図るため、教科に関する調査と併せて、質問紙調査（学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等）を web 上で行いました。本校の特徴的なところを抜き出してお知らせいたします。

学校でも指導していきますが、さらに効果的になるよう御家庭での協力や連携をお願いいたします。

【自己肯定感・自己有用感・生活】（かっこは全国公立学校平均と比べて）

- ・自分にはよいところがあると思っていますか（ほぼ同じ）
- ・将来の夢や目標をもっていますか（ほぼ同じ）
- ・人の役に立つ人間になりたいと思っていますか（やや上回っている）
- ・学校に行くのは楽しいと思いますか（上回っている）
- ・友達関係に満足していますか（かなり上回っている）
- ・普段の生活の中で幸せになることはどれくらいありますか（やや上回っている）
- ・朝食を毎日食べていますか（上回っている）
- ・毎日同じくらいの時間に寝ていますか（上回っている）
- ・毎日同じくらいの時間に起きていますか（やや上回っている）
- ・普段（平日）、1日当たりどれくらいの時間、家庭学習をしていますか（やや上回っている）
- ・学校が休みの日、1日当たりどれくらいの時間、家庭学習をしていますか（やや下回っている）



【見解とお願い】

自分にはよいところがあると思うかという質問に対しては、はっきり否定的な回答は少ないのですが「やや当てはまらない」が少し多めで平均すると全国とほぼ同じとなりました。将来の夢に関しては「当てはまる」より「どちらかといえば当てはまる」が多かったです。人の役に立つ人間になりたいか、幸せになることが多いかという2つの質問は「当てはまる」が多い回答でした。また、学校に行くのは楽しいと答えた子が多く、友達関係に満足している子も多いことが分かりました。

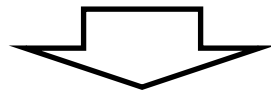
生活に関しては朝食を摂っている割合や、起床・就寝の生活リズムはやや全国を上回り、安定した生活を送っていることが分かります。

平日の家庭学習の時間は1時間以上の子が58%を占めましたが、30分以下の子も18%おりました。休日の家庭学習に関しては全国平均より7%少なく学習時間が短いことが分かりますが、逆に全くしない子は全国より8%少ないという結果となりました。

家庭学習はご家庭のご協力が不可欠です。お子さんとの対話の中で共感的・肯定的なメッセージを伝えるとともに、これからもお子さんの成長を支えていただけますようお願いいたします。

【国語・算数・理科について】（かっこは全国公立学校平均と比べて）

- ・国語の勉強は得意ですか（上回っている）
- ・国語の勉強は好きですか（上回っている）
- ・国語の授業内容はよく分かりますか（ほぼ同じ）
- ・国語の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思いますか（ほぼ同じ）
- ・算数の勉強は得意ですか（やや下回っている）
- ・算数の勉強は好きですか（かなり上回っている）
- ・算数の授業内容はよく分かりますか（上回っている）
- ・算数の授業で学習したことは将来、社会に出た時に役に立つと思いますか（ほぼ同じ）
- ・英語の勉強は得意ですか（下回っている）
- ・英語の勉強は好きですか（下回っている）
- ・将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたいですか
（かなり下回っている）
- ・学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたり
することができていますか（上回っている）
- ・学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげるこ
とができていますか（かなり上回っている）
- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると
思いますか（上回っている）



【見解】

子どもたちは、国語に対して、得意であり好きな子が多いことが分かります。授業理解や将来大切だと考えている子の割合は全国とあまり変わらない結果となりました。

算数に関しては、得意と感じている子はやや少ないですが、好きだと思っている子が多く、理解ができている子も多いです。苦手意識をもつ子も全国より少ない結果となりました。将来の有用感は国語と同じように全国平均とほぼ変わりませんでした。

英語は、苦手だととらえている子が多い結果となりました。

また、友達との関わりを通して、考えを深め新たなことに気づくことが多く、自分を高めたいと考えている子が多いです。また、学習を次の学習につなげることができていると考えている子も多いです。

★令和8年度の全国学力・学習状況調査については以上となります。日頃から本校の教育活動に、ご理解とご協力いただきありがとうございます。これからもよろしくお願いします。